

MD050_SPF_COS_007 出荷処理(拠点出荷)	説明: OM受注データを元に販売実績を作成し、対象受注をクローズします。	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS宮田	Ver.	Issue3.0
------------------------------	--------------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

処理概要

OM受注データを基に、販売実績テーブルにデータを作成し、対象受注を出荷済に更新します。

システム利用者

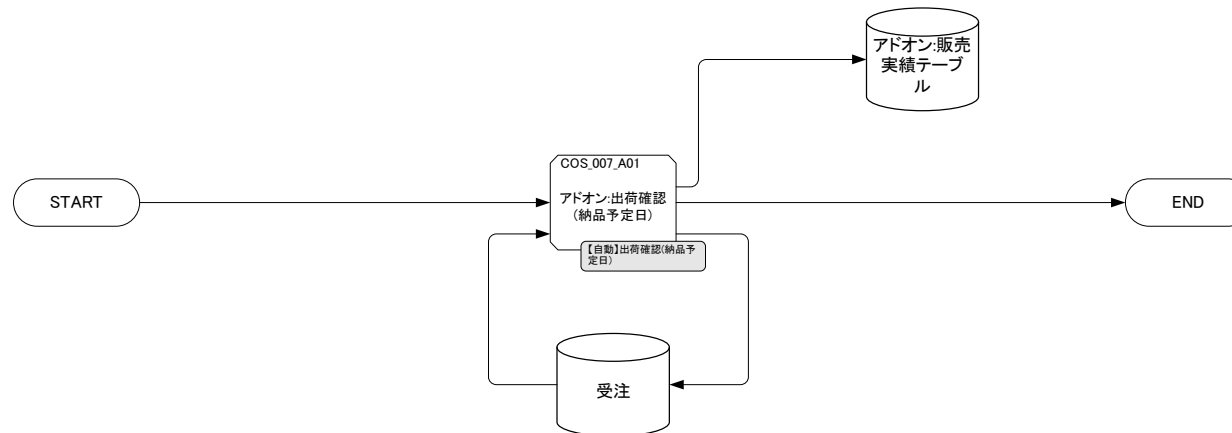
システム管理者(自動起動)

処理タイミング、その他

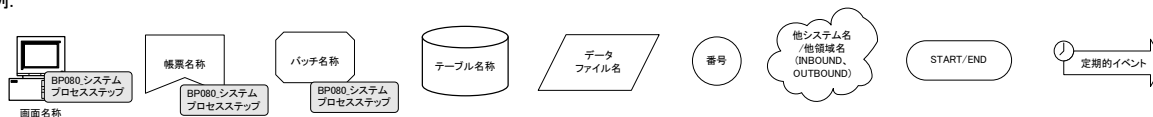
日次夜間バッチ

システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:



MD050_SPF_COS_007 出荷処理(拠点出荷)	説明: OM受注データを元に販売実績を作成し、対象受注をクローズします。	作成日	2008/06/09	作成者	ORACLE 小林	更新日	2009/03/13	更新者	SCS宮田	Ver.	Issue3.0
------------------------------	--------------------------------------	-----	------------	-----	--------------	-----	------------	-----	-------	------	----------

処理概要

OM返品受注データを基に、販売実績テーブルにデータを作成し、対象受注を返品済に更新します。

システム利用者

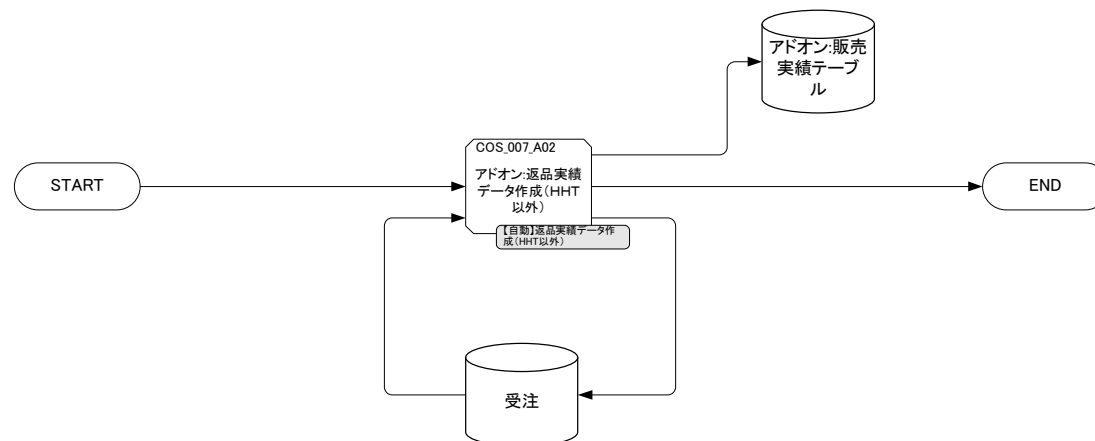
システム管理者(自動起動)

処理タイミング、その他

日次夜間バッチ

システムプロセスフロー記入時の注意事項

- ・機能単位(標準機能含む)で記入すること
- ・INPUT、OUTPUTともにメインテーブルは必ず記入すること
- ・I/F機能の場合、相手先システムを記入すること
- ・左上の枠内に処理概要、システム利用者、処理タイミング等を記入すること
- ・1ファイル、1システムプロセスフローとすること
- ・フローが複数シートになる場合、(→① / ①→)のように番号でフローの繋がりを明確にすること
- ・1システムプロセスフローはSTARTで始まり、ENDで終わること



凡例:

